

## 大学院入試 Q&A 2022年度版

### 入試全般について

**Q. 大学院に入学したいのですが、出願はいつ頃すればよいのでしょうか？**

A. 修士課程、博士課程ともに2022年5月下旬に公表された募集要項をご覧ください。

**Q. 大学院への出願資格はどうなっているのでしょうか？**

A. 概略を述べますと、修士課程に出願するためには学士（又は相当）の学位が、博士課程に出願するためには修士（又は相当）の学位が取得済み、もしくは取得見込みであることが必要です。それ以外にも、学士と同等、修士と同等と認められる場合がありますが、その場合には必ず、出願前に入学資格審査を受けていただく必要があります。この入学資格審査で「相当」と認められてはじめて出願することができるようになります。詳しくは、募集要項をご覧ください。

**Q. 私は、短大を出たあと、大学院修士課程に入学し、修了しました。つまり、「学士」は持っていませんが、「修士」は持っています。このような場合、修士課程に出願することはできますか？**

A. 「学士」をお持ちでないということなので、修士課程に出願するには、出願時に、個別の入学資格審査を受けていただく必要があります。このケースでは入学資格審査を受けずに出願しても、出願資格は認められません。

**Q. 募集要項や願書はどのようにして入手できますか？**

A. 修士課程、博士課程ともに募集要項は5月下旬に研究科ウェブサイトに掲載します。願書は配布しません。オンライン出願受付時に指示に従って必要事項を入力し、それをご自身で印刷することになります。なお、出願用のウェブサイトは7月の出願受付開始時に公開します。

**Q. 過去の入学試験問題は入手できますか？**

A. 過去3年分の入学試験問題は、東京大学文学部複写センター（東大本郷構内・法文2号館地下、電話 03-3814-9301）で販売されています。詳細については直接問い合せて下さい。なお、過去2年間は新型コロナウイルス感染症への対応として、従来とは別の形（試験科目・解答方法）で入試を行っております。過去問をご覧になる場合にはご注意ください。今年度は解答用紙への自筆による解答となります。

**Q. 教育学研究科内の他の専攻、他のコースを同時に受験することはできますか？**

A. 入学試験は同一の日程で行われるため、同時に受験することはできません。  
また、修士課程と博士課程の両方を同時に受験することはできません。

**Q. 入試の前に説明会などはありますか？**

A. 教育学研究科、および各コースの紹介を研究科ホームページに掲載していますのでご覧ください。これら情報の公開は出願前の時期までとなります。

**Q. 教育学研究科の教員に直接質問したいのですが、可能でしょうか？**

A. 個別面談をするか否かは、それぞれの教員の判断にまかされています。これに関しては、まず希望する教員の所属するコースに連絡してください。なお、教員との面談等は原則として入学願書受付開始前までとなります。さらに、面談でお答えするのは研究内容（専攻分野）、研究環境、カリキュラム、修了後の進路状況等に限りです。入試に直接関わることは募集要項記載内容以上のことは一切お答えできません。

**Q. 研究計画書にはどのようなことを書けばよいのでしょうか？ またどのくらいの量のものが求められているのでしょうか？**

A. 研究計画書には主に、本学を受験するまでに自分が関心をもって取り組んできた研究や、関心をもって研究してきた具体的な内容と、今後やってみたい研究等について、それぞれ 1200 字程度で簡潔に記載することが求められています。具体的な内容は、「研究計画書のフォーマット」を参照してください。

**Q. 社会人でも教育学研究科で学べますか？**

A. はい。ほとんどのコースで授業は月～金の平日に開講されていますが、長期履修学生制度というものがあります。これは、フルタイムの有職者の方などを対象としており、修士課程や博士課程の標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に履修し課程を修了することができる制度です。なお、本制度を希望する方は、入学後すぐに申請する必要があります。

詳しくは、教育学研究科学生支援チーム（大学院担当）（募集要項「注意事項」に記載されている連絡先）にお問合せください。

**Q. 長期履修学生制度は社会人だけが対象ですか？**

A. この制度は、フルタイムの有職者の他、出産、育児又は親族の介護を行う必要がある方、視覚、聴覚、肢体その他の障害があるため長期にわたり修学に相当な制限を受けると認められる方も対象となります。

**Q. 海外在住の外国人ですが、オンラインで受験できますか？**

A. 「入国制限により渡日が困難な外国人」は第一次試験（筆記試験）をオンラインで受験することを許可される場合があります。条件に該当し受験を希望する場合には募集要項別紙の指示に従って申請を行ってください。なお、「入国制限」とは日本国による外国人の新規入国制限のことであり、個人的な事情は含みません。

## 出願書類について

Q. 2つの大学（院）で学位を取りましたが、証明書は両方の大学のものを出す必要がありますか。

A. 出願資格とする大学の証明書のみ提出してください。

Q. 編入学した以前の大学の卒業証明書は必要ですか。

A. 出願資格とする大学の証明書があればよく、編入学以前の卒業証明書は不要です。

Q. 証明書の発行申請中だが、出願期間内に間に合わないので、他の書類を先に提出し、証明書は発行次第追加で提出してもよいですか。

A. 出願書類を郵送する際に、証明書は現在発行申請中（いつまでに発行見込みかも含めて）である旨メモを入れて送ってください。なお、証明書は発行され次第、郵送する封筒の表面に朱書きで「○○課程出願追加書類在中」と明記して送ってください。速やかに提出されない場合は、出願を受理しないこともありますのでご注意ください。

Q. 海外大学のオンライン証明書の提出は可能でしょうか。

A. 印刷した証明書とそれが公式発行の旨のWEB等をプリントアウトしたものを提出してください。

Q. 証明書の発行日の有効期間はありますか。

A. 出願前6ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

Q. 旧姓での出願の際に追加で必要な書類はありますか。

A. 改姓名したことがわかる書類（戸籍抄本等）も併せて提出してください。

Q. 返信用封筒を知人から別途提出してもよいですか。また、通知宛先を知人にしてもよいですか。

A. 返信用封筒の別途提出は可能です。返信用封筒や受信場所を確実に届く住所を指定してください。

Q. 日本語能力試験の証明書発行に時間がかかりそうなので、他の日本語学力証明書（実用日本語検定）を提出してもよいですか。

A. 日本語学力証明書は本研究科所定の用紙又は日本語能力試験合格者は「認定結果及び成績に関する証明書」となっておりますので、「認定結果及び成績に関する証明書」が提出できないのであれば所定の様式により提出してください。

Q. 外国人ですが、日本の大学の科目等履修生は（日本の大学を卒業にあてはまり）

日本語能力証明を提出しなくて良いでしょうか。

A. 科目等履修生は日本の大学を卒業（見込）者ではないので提出が必要です。

Q. 修士の学位論文及びその論文の要旨について、論文が英語以外の場合、どのように提出したらよいでしょうか。また、論文要旨4000文字には論文題目と氏名も含まれますか。

A. 論文題目は正式なタイトル（英語以外のもの）を記載し、論文には日本語訳を付けてください。また、文字数については、論文題目、氏名を含め、4000字程度とお考えください。

Q. 海外にいたので、受験票送付封筒の日本の切手を入手することが困難です。

A. 国際返信用切手International Reply Coupon（IRC）返送料分（必要分）を同封してください。

Q. 中国では出願のための角2封筒が入手できませんが、どうしたらよいですか。

A. 出願書類の封筒に関しては、A4書類が折らずに入るサイズであればかまいません。

#### 試験関係について

Q. 休暇を申請する都合上、筆記試験の日程を早めに知りたいのですが。

A. HP掲載の募集要項・別紙に記載のとおり、試験実施に関する詳細な情報は、出願受付後、出願者へ受験票とともに送付する「受験者心得」で通知します。

## 出願フォームについて

**Q. 正しく入力しているが、メールアドレス不一致の記載が出て完了できません。**

A. メールアドレスの入力に関して、以下を確認ください。

- ・メールアドレスの前後にスペースやタブ等が入っていないか。
- ・メールアドレスの大文字・小文字は合っているか。

上記でも解決しない場合は、別のブラウザやPC等から再度入力を試みてください。

**Q. マイページにログインできません。**

A. オンライン出願フォームにて入力いただいた後、最後のページの「入力内容を確認する」ボタンをクリックしますと、入力された内容確認の画面となります。

確認いただいた後、「願書を作成する」をクリックしますと作成された願書等各種様式が表示され、その最初のページの一番上に受付番号が表示されます。受付番号はマイページへのログインの際に必要となりますので、必ずメモ等にて控えていただくよう注意書きを記載しております。

受付番号を控えられていなかった場合は、お手数ですが、出願フォームより再度ご入力くださるようお願いいたします。

**Q. 複数回入力・変更してしまいました。**

A. 一度アップロードした願書等を変更した場合でも、郵送された出願書類を最終版としますので最終版を印刷して郵送により出願してください。

また、郵送する書類は最後に入力修正した版であることを受付番号でよく確認するようお願いいたします。

**Q. 研究計画書の様式が見つかりません。**

A. 「研究計画書」の様式は、本研究科ホームページに掲載しておりますオンライン出願フォームの最初のページ（注意・免責事項を表示）の項目「オンライン出願について」部分に掲載しておりますのでご確認願います。

**Q. 研究計画書には図表の掲載は可能でしょうか。また、図表内の文字や参考文献は字数制限に含めますか。**

A. 図表の掲載は可能です。図表内の文字は字数制限には含めませんが、様式の枠内に全体を収めるよう作成してください。参考文献の記載は字数制限に含めます。

**Q. 写真がうまくアップロードできません。**

A. 入力フォームで写真をアップロードできない場合にはアップロードはしなくてかまいません。印刷したものに写真を添付して郵送してください。写真の裏には氏名を記入してください。さらに受験票添付用として裏面に氏名を記入した同じ写真をもう一部同封してください（同じ写真を2部用意）。

### ※追記

写真をアップロードせずに願書作成を完了させることはできません。写真を

アップロードせずに写真添付に代える場合には事前に本研究科学生支援チーム ([graduate@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:graduate@p.u-tokyo.ac.jp)) にご相談ください。